



令和4年(2022年)
9/5
第1567号

市報 こだいら



ふるべー



東京都自殺対策強化月間特別相談………3面
マイナンバーカードを利用して証明書が取得できる
証明書交付機を市役所などに設置………5面

やさしいにほんごでのお知(し)らせ



生誕150年 平櫛田中展

市制施行60周年と、彫刻家・平櫛田中(1872~1979)の生誕150年を記念して、特別展「生誕150年 平櫛田中展」を開催します。平櫛田中の生まれ故郷、岡山県井原市立田中美術館や東京藝術大学など、全国各地から彫刻作品約60点を集め、小平市名誉市民平櫛田中の全貌を紹介します。



《幼児狗張子》明治44年(1911) 井原市立田中美術館蔵

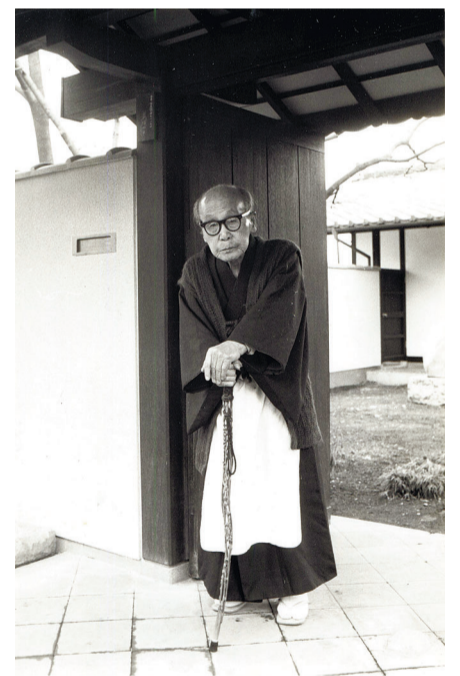


写真上《灰袋子》昭和29年(1954) 井原市立田中美術館寄託

写真中《落葉》大正2年(1913) 広島県立美術館蔵

写真下《活人箭》昭和39年(1964) 茨城大学五浦美術文化研究所蔵

平櫛田中(ひらくしでんちゅう)



明治5年(1872)、現在の岡山県井原市に生まれました。青年期に働きに出た大阪で美術に興味を持ち、人形師に弟子入りして彫刻を学びます。その後上京して、高村光雲の門下生となりました。平櫛田中の代表作《鏡獅子》(高さ2百6センチ)は、東京・国立劇場のロビーに展示されています。昭和37年(1962)には、彫刻界のさまざまな功績によって文化勲章を受章しました。

小平に移り住んで

田中は玉川上水を気に入り、将来隠居するならこと、昭和10年ごろに小平の土地を購入しました。その後30年以上経ってからは、昭和43年(1968)に建築家・大江宏による設計で家を建て、昭和45年に引っ越してきました。小平には亡くなるまでの10年間を過ごしました。邸宅は田中の没後、昭和59年(1984)に記念館として開館し、その後、平成6年(1994)に展示館を新設して、現在は二館併設の美術館として公開されています。記念館は今年、東京都選定歴史的建造物に選定されました(現在は部分公開となっています)。

生誕150年 平櫛田中展

本展では、全国各地から集めた、明治、大正、昭和の各時代の代表的な彫刻作品を取り上げ、近年の美術史研究の成果を踏まえながら、この不世出の彫刻家の全貌を紹介します。また、近年発見された初期の平櫛田中作品を初公開します。

とき 9月17日(土)~11月27日(日)
午前10時~午後4時
※午後3時30分までに入館してください。
ところ 平櫛田中彫刻美術館

◆記念トークイベント

家族から見た田中の姿を孫の平櫛弘子館長が語ります。
とき 9月17日(土) 午後1時30分から(3時終了予定) 1時開場
ところ 放送大学東京多摩学習センター(学園西町1-29-1)
定員 86人先着順 当日午前10時から、美術館の受付で整理券を配布



《樵夫》明治32年(1899)個人蔵

◆秋のお茶会

とき 9月23日(金・祝)~25日(日) 午前10時~午後2時
ところ 記念館庭園(雨天の場合は室内)
費用 300円(別途、観覧券の購入が必要です)
定員 各日60人
申込み 当日、会場へ(先着順)

平櫛田中彫刻美術館

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)
観覧料 一般:千円(800円)、小・中学生:500円(400円)
※かっこ内は、団体20人以上です。
※駐車場はありません。お車をご利用の方は、美術館へお問い合わせください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098



クラウドファンディング平櫛田中応援プロジェクト

平櫛田中作《六義歌》と《橋弁慶》の修復を行うため、クラウドファンディングで寄附金を募ります。
募集期間 9月17日(土)~11月27日(日)
寄附の方法
▽インターネット:ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」にアクセス
▽窓口:財政課市役所2階 または平櫛田中彫刻美術館で手続き
▽検索 ふるさとチョイス
問合せ 財政課 ☎042(346)9504、文化スポーツ課 ☎042(346)9843



写真上《橋弁慶》昭和25年(1950) 木彫彩色
高さ 牛若丸14・8センチ
弁慶 22・0センチ
写真下《六義歌》昭和26年(1951) 木彫彩色
高さ 38・0センチ

平櫛田中文庫 彫刻作品3D画像



小平市立図書館ホームページでは、平櫛田中が生前収集していた約1万5千点の書籍を「平櫛田中文庫」として公開しています。またデジタルアーカイブでは、彫刻作品の3Dをはじめ、代表的な作品や、「平櫛田中文庫」蔵書の一部を高精細画像で公開しています。